

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86	14	0	0	・見学時に少し見ただけなのでわかりません。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	91	9	0	0	・見学時に少し見ただけなのでわかりません。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	86	9	0	5	・事業所内に入ったことがないため、わからない。 ・見学時に少し見ただけなのでわかりません。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100	0	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	82	18	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	32	55	14	0	・交流で友達をたくさん作っていいと思います。もっと交流を増やしてほしいです。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95	0	5	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	91	9	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	77	14	9	0	・面談はない。 ・保護者会はぜひやってほしいです。子供から親から友達になって色々なことが話せると思います。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	45	36	18	0	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100	0	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	95	5	0	8	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	95	0	5	0	・ぱれっとに入る前にフェイスブックに顔出しはNGと話したのに、顔出しでのせられていた。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	91	9	0	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	95	5	0	0	

満足度	⑰	子どもは通所をたのしみに行っているか	91	9	0	0	・二重丸をつけてくださった方がいた。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	95	5	0	0	・二重丸をつけてくださった方がいた。

※提出していただいた評価表は 人分で数字の単位は%で表示してあります。

● 評価と今後の改善点

	チェック項目	今後の改善点
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・コロナ禍ということもあり、換気に気をつけ、密にならないように活動を行っている。体を動かす活動がメインな為、広い指導室を使うことが多く、スペースが十分に確保できている。相談室や休憩室を使用する時には換気と蜜に気をつけながらスペースに適した人数での活動を行ったが今後も引き続き行っていきたい。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	・職員配置は急な体調不良を除いて十分な配置を行っている。 ・専門性については定期的に社内研修を行ったり社外研修に参加をしている。今後も続けていきたい。 ・作業療法士を配置することで、より適切な支援が行われるようにしている。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	・室内に手すりはないがバリアフリー、室外にはスロープの設置があるが、ほとんどの家庭が送迎のため、契約時にしか室内に入ることがないため、周知されていないのかもしれない。見学をしてもらう機会を作っていきたい。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	・アセスメントを行い、保護者のニーズを入れるように作成をしている。児童本人や保護者にモニタリングを行ったり、策定会議を行ったりして作成をしている。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	・特別なイベント以外では児童が主体になって活動を考えることが多いため、固定になりやすくなっているが、人数やその日によって色々な活動が出来るように声をかけている。固定化が安定につながることもあるため、臨機応変に対応していきたい。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・コロナ禍ということもあり、児童館には行くことができなかった。自分主体の児童が多いため、難しい面もあるが機会を持つていきたい。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・契約時に行っている。わかりにくい利用者負担については、具体的に説明を行っている。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	・フェイスブックで日頃の活動の様子を投稿している。またラインでの報告、特に大切なことは送迎に伺った時、または電話で連絡を行っている。今後も続けていく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	・特別な場合を除き面談を行っていないため、行ってきたい。面談の代わりに送迎時に行う家庭連携を行っていたが特定な利用者に限ってしまっていたため、希望をとっていきたい。先生によって違うという意見もあったため、助言ができる支援員を育てよう研修を行ってきたい。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	・コロナもあり保護者会や、ホームカミングデ的な集まりもできなかった。予定を変更して、開催を決めたが参加者が少なかったため中止になってしまった。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・苦情の窓口を設けており契約時に保護者に説明を行っている。苦情があった場合は迅速、丁寧な対応を心がけ、職員間でも共有できるようにしていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・送迎時に伝えたりお知らせを渡したりすることによりできているが、保護者さんからは聞いていなかったと言われたことがあったため、確実にお知らせをするように。またわかりやすくお知らせをするよう心がけていく。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	・フェイスブックやラインなどを活用して毎日活動の様子がわかるようにお知らせを行っている。月1回のばれっと通信も始めたため月行事などもしっかりと伝えていきたい。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	・フェイスブックなど、顔出し厳禁の家庭もあるため、今後も十分に注意していく。知りえた個人情報以外に漏れないように今後も徹底をしていく。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	・マニュアルの作成はしているが、そのようなものがあることを伝えていなかった為、契約時に伝えていくようにしている。台風やコロナ対応など緊急時にはその都度対応が違うため、対象者に連絡を行っている。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・地震を想定した避難訓練を行っているが、多くのパターンを想定していない、回数も多くないためなのか、フェイスブックやお知らせなどで伝えてはいるが、認知度が低かった。定期的に行ってきたい。
満足度	⑰ 子どもは通所をたのしみに行っているか	・ばれっとに行きたいから学校に行くなどと楽しみにしてくれている児童が多かった。これからも楽しめる活動を提案して行く。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	・とても楽しみにしているという声が多かった。これからも満足してもらえるような支援を心がけていきたい。